

2013 年度 情報メディア創成学類クラス連絡会 学習・生活環境に関する議題と報告 (仮)

2013 年 11 月 18 日 (月)

1. 情報メディアユニオンの自動ドアに関する要望
 2. 受講しなかった選択科目、単位取得できなかった科目に関するアンケート結果の報告
 3. 出願時に目指していた職業、志望動機に関するアンケート結果の報告
 4. 新入生歓迎イベントの広報に関する要望
 5. フレッシュマンセミナーに関する要望と、アンケート結果の報告
 6. 専門選択科目「音声情報処理」に関する要望
 7. その他アンケート結果の報告
- 付録 アンケート質問用紙

1 情報メディアユニオンの自動ドアに関する要望

1.1 アンケート実施の背景

情報メディアユニオン入口の自動ドアが開きにくいという報告を何度か受けた。特に新入生が書類一式を受け取りに行くときに感じたようである。センサーの位置が普通より高い位置にあるためではないかと推測している。

しかし、センサーの反応には個人差が考えられ、調整を要望する必要があるか分からないため、どのくらいの人が困ったことがあるのかを調査した。

1.2 調査結果

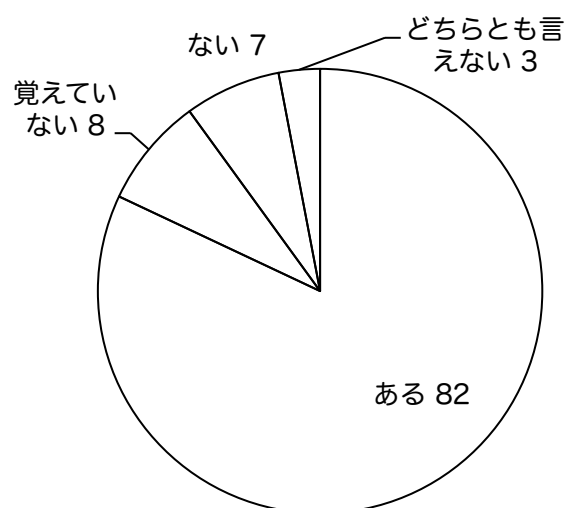
次の質問に対する回答は以下のようになった。

情報メディアユニオンの自動ドアの反応が悪くて困ったことはありますか。

該当するものに○をつけてください。

【 ある / ない / どちらとも言えない / 覚えていない 】

(対象者: 1～3 年次、配布数: 134、回収数: 100、回答者数: 100)



1.3 要望

ほとんどの学生が自動ドアの反応が悪くて困った経験があることが分かる。

以上より、自動ドアのセンサー調整を要望する。

2 受講しなかった選択科目、単位取得できなかった科目に関するアンケート結果の報告

2.1 アンケート実施の背景

2011 年度のクラス連絡会において授業に対する不満・要望を調査した。2 学期制に移行することもあり、継続してデータを取ることを決めた。

2012 年度のクラス連絡会では、受講しなかった選択科目、単位取得できなかった科目に絞って調査した。その理由は、受講しなかった理由は全学的な授業評価アンケートでは分からないため、単位取得できなかった原因が学生にあるのか教員側にあるのかを調べるためであった。興味深いデータだから是非継続して調査してほしいと先生方から希望があったため、今年度は 2012 年度とほぼ同じ質問を行った。

2.2 調査結果

次の質問に対する回答を報告する。

履修状況について伺います。

- 1 これまでに選択しなかった専門基礎選択・専門選択の科目について、科目名と選択しなかった理由を教えてください。科目名は、判別可能であれば省略した名称で構いません。
(対象者: 1～3 年次、配布数: 134、回収数: 100、回答者数: 54)
- 2 これまでに単位を取得できなかった科目について、科目名とその理由を教えてください。
(対象者: 1～3 年次、配布数: 134、回収数: 100、回答者数: 54)

2.2.1 これまでに選択しなかった専門基礎選択・専門選択の科目についての結果

無回答: 46

特になし: 6

情報数学Ⅱ: 16

- ・数学がきらいだから
- ・数学が好きじゃない
- ・内容を見て、苦手な数学の分野だったため。
- ・難しすぎる
- ・難しそうだった。
- ・キツそうだったから。
- ・課題が重すぎる
- ・めんどろそうだった。
- ・情報数学Ⅰ再履修組のため。
- ・情数Ⅰの単位が必要だったから。
- ・Ⅰの単位を取得できていなかったため
- ・他学類で取りたい科目があったため。
- ・土日が無くなる
- ・なんとなく。
- ・興味のあまり無い分野だったから
- ・やむを得ない理由で初回を欠席したが、初回に出席した友人から「全回出席前提」であること、プレイスメントテストが行われたことを聞いたため履修をやめた。

コンテンツ表現演習: 11

- ・コンテンツ表現演習Ⅱをとったため
- ・コンテンツ表現演習Ⅱを選択したから
- ・倍率高そうだったから
- ・人数漏れ
- ・定員オーバーのため。
- ・きついとおどされた。定員が足りなかった。
- ・毎回課題が辛いと聞いたので。
- ・課題が嫌。
- ・クリエイターっぽい内容のことだったので興味がなかった"
- ・とりたい自由科目があった
- ・月曜の方は他に履修している科目の時限の都合上、選択することができなかった。木曜の方は前の時限の受講教室上、講義開始に間に合わず(開始後15分後までなら出席扱いになることは履修登録締め切り後に知った)、またガイダンスから授業テーマが自分にとって興味深いものではなかったため、選択しなかった。"

信号とシステム: 8

- ・情報通信概論とかぶっているため
- ・情報通信概論を優先。
- ・他と重なっているため
- ・他の専門選択
- ・授業のテンポが遅すぎる"
- ・担当の先生が苦手。
- ・他に取りたい授業がある。
- ・(理由は無回答)

情報数学Ⅳ: 8

- ・数学が好きじゃない
- ・課題が重すぎる
- ・土日が無くなる
- ・とくちゃん苦手。
- ・難しそうだったから
- ・朝起きられない。
- ・興味のあまり無い分野だったから
- ・(理由は無回答)

情報数学Ⅲ: 6

- ・先生急病。
- ・数学がきらいだから
- ・土日が無くなる
- ・数学キライのため。
- ・興味のあまり無い分野だったから
- ・他に取りたい授業がある。

人間計測の方法: 5

- ・興味のあまり無い分野だったから
- ・興味がなかった。
- ・興味がなかったから
- ・他に取りたい授業がある。
- ・情報メディア創成学類の選択はほとんど2単位で、1単位科目は取っても単位戦略上あまり意味がないため。

視覚情報科学: 4

- ・難しかったので履修するのをやめた
- ・興味がなかったから
- ・興味なし
- ・(理由は無回答)

情報社会と法制度: 4

- ・くじで落ちた
- ・興味がなかったから。つまらなそうだから。
- ・他に取りたい授業がある。
- ・秋 AB のスケジュールと課題の都合上、選択したら他の科目の習熟に影響が出るため

知的財産概論: 4

- ・興味がなかったから。つまらなそうだから。
- ・単位が足りている、特に興味もなかったため
- ・他に取りたい授業がある。
- ・(理由は無回答)

情報デザイン I: 4

- ・コンテンツ表現演習が前提。
- ・受講条件をみたさない。
- ・興味なし。
- ・(理由は無回答)

メディア社会学: 3

- ・他の授業とかぶっていてとれなかった
- ・かぶった。
- ・コンテンツ概論を優先。

オートマトンと形式言語: 3

- ・他の授業を被っていたから
- ・他の科目と被った
- ・興味のあまり無い分野だったから

パターン認識: 3

- ・興味のあまり無い分野だったから
- ・担当の先生が苦手。
- ・興味がなかったから

情報メディア特別演習: 2

- ・負担が大きそうだったため
- ・今年は時間がなかったため。

情報表現法: 2

- ・他学類で取りたい科目があったため。
- ・他に取りたい授業がある。

CG 基礎: 2

- ・課題が重すぎる
- ・興味がなかった

メディア社会学: 2

- ・興味がなかったから
- ・他に取りたい授業がある。

知覚心理学: 2

- ・興味がなかったから
- ・興味がなかった。

情報デザイン II: 2

- ・ついていく自信がなかったから
- ・(理由は無回答)

ソフトウェア構成: 2

- ・忙しい。
- ・興味のあまり無い分野だったから

知識・自然言語処理: 2

- ・興味がなかったから
- ・興味のあまり無い分野だったから

データベースシステム II: 2

- ・忙しい。
- ・興味のあまり無い分野だったから

データベースシステム I: 1

- ・興味のあまり無い分野だったから

コンテンツ応用論: 1

- ・(理由は無回答)

web プログラミング: 1

- ・プログラミングだから

情報通信概論: 1

- ・他に取りたい授業がある。

統計分析: 1

- ・他に取りたい授業がある。

コンテンツ概論: 1

- ・他に取りたい授業がある。

情報理論: 1

- ・他に取りたい授業がある。

デジタルコンテンツ表現演習: 1

- ・ 興味がなかったから

実世界指向システム: 1

- ・ 興味がなかったから

情報可視化: 1

- ・ 忙しかった。

映像表現実習: 1

- ・ グループワークだから。

コンテンツプロデュース論: 1

- ・ (理由は無回答)

情報通信プラットフォーム論: 1

- ・ (理由は無回答)

生物と情報: 1

- ・ あまり興味がなかったから。

システム運用: 1

- ・ 興味のあまり無い分野だったから

システム数理: 1

- ・ (理由は無回答)

その他の回答: 3

- ・ 忘れた
- ・ 科目自体に興味が無い
- ・ …?

2.2.2 これまでに単位を取得できなかった科目についての結果

無回答: 46

なし: 14

情報数学Ⅰ: 9

- ・テストが出来なかった
- ・単位と出会えなかった
- ・お察しください
- ・出席率
- ・勉強不足
- ・テストの出来が悪かった。
- ・期末試験への準備が十分ではなかったため。
- ・勉強不足
- ・勉強不足

情報社会と法制度: 6

- ・期末試験への準備が十分ではなかったため。
- ・勉強不足
- ・点数足りず。
- ・試験不合格。
- ・授業に初回しか出席しなかったため。
- ・試験日に風邪を引いて欠席した。

情報通信プラットフォーム論: 6

- ・テストの山がはずれたから
- ・テストの点数?
- ・テスト
- ・勉強不足
- ・テストの成績がよくなかったから
- ・3,4 年次向けだからと手を抜いてしまった。

情報数学Ⅲ: 4

- ・レポートの成績が悪かったので切った。
- ・講師急病による対策措置の不具合。
- ・講師の急病

・履修フェイント

データ工学概論: 3

- ・去年落とした情報数学Ⅰとかぶった。
- ・課題不十分、試験未受験。
- ・課題をやる気が起きなかった

人間計測の方法: 3

- ・試験不合格。
- ・勉強不足
- ・テストを受験しなかったため。

プログラミング実習Ⅱ: 2

- ・課題が全く解けなかったため。
- ・課題をやる気が起きなかった。

確率と統計: 2

- ・課題未提出。
- ・テスト寝ブッチ

認知科学: 2

- ・出席率
- ・教室に行くのが嫌になった。

視覚情報科学: 2

- ・興味があるから
- ・課題

コンピュータリテラシ: 1

- ・課題をやる気が起きなかった。

コンピュータリテラシ実習: 1

- ・課題をやる気が起きなかった。

情報メディア概論: 1

- ・課題としてやろうと思っていたものが完成しなかった。

プログラミングⅠA: 1

- ・レポートの提出形式を全く理解していなかった

プログラミングⅡ: 1

- ・プログラミングが苦手だから

解析Ⅰ: 1

- ・期末試験の欠席

解析Ⅱ: 1

- ・課題をやる気が起きなかった。

線形代数Ⅱ: 1

- ・勉強不足

コンテンツ概論: 1

- ・課題未提出。

信号とシステム: 1

- ・勉強不足

ネットワークメディア概論: 1

- ・出席不足

コンテンツ流通基盤概論: 1

- ・出席

情報メディア特別演習: 1

- ・途中で切った

インタラクションデザイン: 1

- ・分からない。

オートマトンと形式言語: 1

- ・(理由は無回答)

情報メディア特別講義 A: 1

- ・他の予定を優先。

3 出願時に目指していた職業、志望動機に関するアンケート結果の報告

3.1 アンケート実施の背景

情報メディア創成学類クラス連絡会では、学類の方針についてほぼ毎年議論されてきた。

2011 年度には、「授業内でもっと深いプログラミングや、モノづくりなどを教えてほしい」「専攻分けが行われない理由」「院に行くことを推す理由」「創成学類生の就職について」「パンフレットと実際の授業に関して落差がある」といったことに対して教員の意見を伺った。

2010 年度には、大学院が設立されないことが決定されたことについて説明を要求した。

2008, 2009 年度には、教育目標を学生が知っているかどうか、「新しいタイプの情報メディア学の技術者・研究者」を学生がどう捉えているか、教員間の考え方の差異を学生がどう思っているかを調査した。

しかし、以上の議論については、個人個人の目指すものによって学類に求めるものが異なるため結局は個人の問題に帰結してしまう。また、学類の目標と学生の目標にミスマッチがあっては学生にとって不幸だ、もしミスマッチがあるならば何故起こるのかを知りたいと学類長が心配していた。そこで以下のような質問を行った。

3.2 調査結果

次の質問に対する回答を報告する。

情報メディア創成学類に出願・入学した経緯について伺います。

1 出願時に目指していた職業は何ですか。なお、「エンジニア」、「クリエイター」の定義は、以下の学類紹介ページによることとします。

【 エンジニア / クリエイター / その他 () 】

情報メディア創成学類は、情報通信技術の基礎教育の上に、ネットワーク上を流通するコンテンツを生み出し・活用する技術(コンテンツ・テクノロジー)や、コンテンツの蓄積や流通を支える技術(ネットメディア・テクノロジー)を学ぶために創設された学類です。コンテンツそのもので勝負するクリエイターを養成する学類ではなく、技術力で社会にインパクトを与えるエンジニアを養成する学類です。

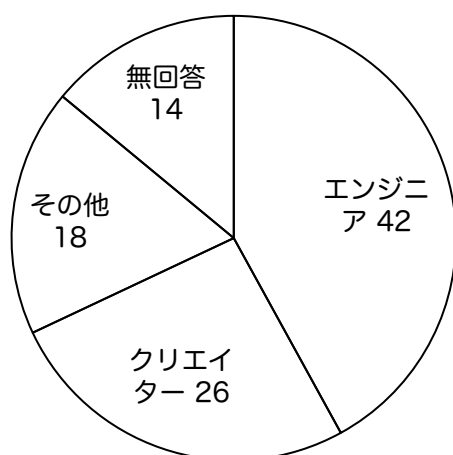
(<http://www.mast.tsukuba.ac.jp/outline/college.html> より)

(対象者: 1～3 年次、配布数: 134、回収数: 100、回答者数: 86)

2 他の大学や他の学類ではなく、この学類に出願・入学を決めた理由を教えてください。

(対象者: 1～3 年次、配布数: 134、回収数: 100、回答者数: 78)

3.2.1 出願時に目指していた職業についての結果

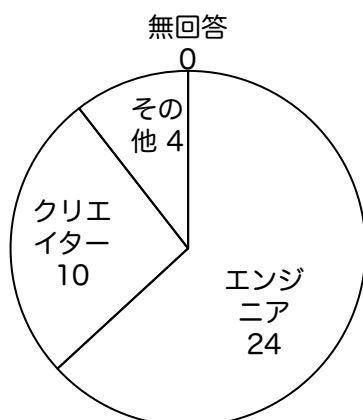


その他内訳

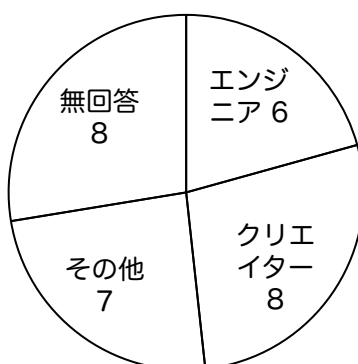
特になし・未定: 11
 どちらも考えていた: 1
 研究者・公務員: 2
 プロデューサー: 2
 働きたくない: 1
 遊び人: 1

学年別の結果

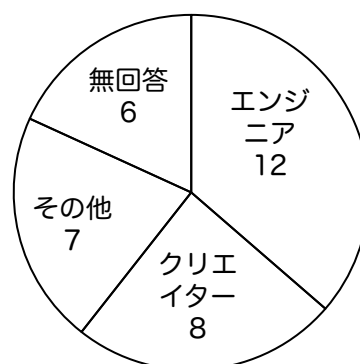
1 年次



2 年次



3 年次



3.2.2 他の大学や他の学類ではなく、この学類に出願・入学を決めた理由についての結果

「エンジニア」と回答した方

地理・入試・国立であること: 10

- ・秋葉原に行きたかったから。
- ・国立で家から近かったから
- ・地理、国立大学、総合大学である点
- ・県内 + 情報系 + 成績
- ・家から近い、OC で見てやりたい事に近かった、受験科目が負担が少なかった
- ・自分の学力に合っていたから
- ・偏差値が低めだったから
- ・後期試験を実施しているちょうどいい大学がなかったから
- ・入試科目がすくない
- ・情報科学類を目指していたが落ちた

エンジニアとして: 7

- ・メディアに関して興味があり、国立で学べるのは他にあまりなく実力的にも届く範囲があって現実的な進学先として選べたから。
- ・情報通信技術の基礎をしっかりと学びながらコンテンツに技術を応用するにあたって背景知識も学ぶ事ができ、コンテンツを生み出すクリエイター等を情報技術で支援する力を身につけられると思ったから。
- ・クリエイターを支援する何かを作りたいと思ったのでこの学類が合っていると思った。
- ・ゲームを作りたい、技術方面もコンテンツ方面も両方学べてかつ学力的に適切だと思ったから。
- ・コンテンツの制作だけでなく、それを流通させる技術も学びたかった。
- ・情報に興味はあったが電子系に苦手意識があったことと、クリエイターも考えたがそれを支える技術に興味があり丁度良いと思ったから。
- ・メディアという分野がこれから伸びてくるだろうと思った。また、その分野を専門としたところが良かったから。

大学や学類の魅力: 17

- ・情報学群が独立して存在しており、ここならより集中して情報の勉強ができると思ったから。
- ・筑波は情報に強いと聞いたから。
- ・他学類の授業が学べ、学問に集中出来る環境が整い、自分が学びたい分野全てに手を出せると思っていたから。
- ・情報技術について学びたかった上、その中のコンテンツを活用する技術も学びたかったから。筑波大学の特徴に魅力を感じたから(総合大学、教育大学が前身)。
- ・様々なことが学べる総合大学だから。自分の興味のある学問だったから。
- ・勉強してみたい内容が多かったから。
- ・なかなか他の大学にない学類だったから。
- ・国立大学の中で最も自分のやりたいことに近かったため。
- ・他の大学、ほかの学類にはないことを勉強できるから。
- ・情報メディア創成学類と同じことができる大学は他にはないため(単願であった)。
- ・興味ありそうな内容を学べそうだったから。
- ・授業科目が少なく、パンフレットを見て他の情報系よりも面白そうに感じたから。
- ・多方面に様々なことを学べるから。
- ・内容に興味があったから。
- ・行きたいところがここしかなかったから。
- ・音響、音楽について学びたいと考えていたから。
- ・カッコいいから。

無回答: 6

なんとなく: 2

「クリエイター」と回答した方

地理・入試・国立であること: 3

- ・入試で使う科目に理科がなかったから。
- ・家が近く、情報系の学類がよかったから。
- ・センター試験の結果、第一志望の大学に合格するのが、現実的でないと判断し、合格ボーダーラインなどが掲載されている受験ガイドブックのようなものを流し見ていたところ、合格が現実的な範囲で情報メディア創成という面白い名前の学科を見つけたため。

クリエイターとして: 6

- ・県外に出たかった。コンテンツを作ってみたかった。親がよく似た職業に就いている。
- ・クリエイター志望ではあるが、4 年制大学で幅の広い学習をしようと思い、製作技術は独学する予定で入学した。学費の問題から国立大学への進学を考えており、芸術専門学群が設置されていることも決め手となった。
- ・何かを作ること(ものづくり)ができそうだったから。
- ・当時の学力で入れそうだったから。"情報メディア創成"の意味を勘違いしていたから。
- ・様々なことを幅広く触れることができそうだったから。ゲームが好きだったから。
- ・ハードウェアに興味がなく、ソフトウェアについてのみ学びたかったから。

大学や学類の魅力: 7

- ・OC で徳永先生の説明を聞いて感動した。また、コンテンツ作りに重点を置いているところや、面白そうな研究室がたくさんあること、また意欲的で頑張ろうとする人をバカにせず、高め合って行くひとが集まっている雰囲気魅了された。
- ・自分のやりたい事に合っていたから。
- ・やりたいことが明確に決まっておらず、パンフレットや HP を見て自分に合っていそうだったため。
- ・授業、施設が魅力的だった。
- ・コンピュータに興味があり筑波の設備がいいって先生に教えてもらったので。
- ・情報系の勉強がしたくて、かつつくばという特殊な環境が魅力的に感じられたから。
- ・関東の国公立で CG の勉強がしたかった。高校時代に交流があったから。

無回答: 6

おもしろそう: 3

なんとなく: 1

その他の回答をした方、3.2.1 では無回答だった方

地理・入試・国立であること: 11

- ・入試が楽。
- ・実家から近かったから。
- ・第1志望に落ちた。
- ・近いから。
- ・受験科目が少ないから。
- ・国公立だったこと。CGなどの勉強ができること。
- ・入試(2次)に理科(化Ⅱ,物Ⅱ)がない情報系だったから。
- ・国公立で1人暮らしできそうだから。
- ・後期試験が面白そうだったから。
- ・後期に面接がなかったから。
- ・他の場所ではやっていける気がしない。地理的にとよくない、国立・学力が自分に合う大学。

学類・大学の魅力: 4

- ・他学類に興味をひかれなかったから。
- ・コンピュータのみでなく、人間の心理や脳科学についても学べるらしかったから。
- ・他にない学科だったから。

- ・他大(国公立)ではメ創のようにハードとソフトを幅広く学べる学部はなかったため。

クリエイター寄りの回答: 3

- ・コンテンツにも重点を置いている学部が他に見当たらなかったから。
- ・情報という分野でもコンテンツ提供することに興味があったから。
- ・コンテンツの運営、プロデュース、マーケティング類の勉強がしたかった。その本質が何かを理解したかった。情報科学はより技術的、ハードウェア的に感じ、面白み(興味)がない。エンジニアとして技術職につくつもりはない。

その他: 4

- ・なんとなく。
- ・名前がかっこいい。
- ・母のすすめ。
- ・たまたまAC通ったため。

無回答: 10

3.3 報告

出願時点でクリエイター志望の学生が本学類を志望した理由を見ると、Web ページやパンフレットを見て、授業が魅力的に感じたり、やりたいことができると感じたからであるようだ。この学生たちが今満足しているのかミスマッチを感じているのかまで質問しなかったことは片手落ちだったと思う。

本学類の施設や授業はクリエイター志望の学生にも魅力的に映ることは確かなようである。エンジニアリングもできるクリエイターとして卒業することも良いことであると思う。クリエイター志望の学生が少なからずいるからと言ってミスマッチがたくさん起こっていると悲観することもないかもしれない。エンジニア志望であると回答した学生もクリエイター的な仕事を意識している人は多い。

設問に不備があったが、この結果が教員の方々の有益な資料になれば幸いである。

4 新入生歓迎イベントの広報に関する要望

4.1 アンケート実施の背景

今年度の新歓時期が終わったあと、新歓イベントの存在を知らなかったために参加できず、とても残念な思いをしていると 1 年生の間で何度か話題に上った。

合同クラス連絡会において新歓情報誌を送付することを要望したが本学類では学類独自に送付しているものがないので難しく、クラ代内でも未だ有効な解決策は出ていない。せめて、広報の必要性がどのくらいあるのかだけでも把握したいと考えた。

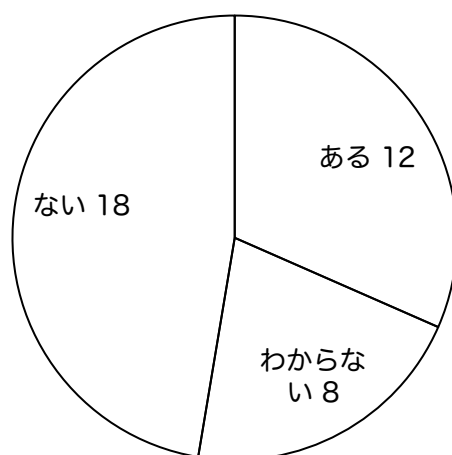
4.2 調査結果

次の質問に対する回答は以下のようになった。

【1 年生】の方に伺います。入学式の前後で、情報メディア創成学類と知識情報・図書館学類合同で新歓イベントが行われました。Twitter や Web ページ、貼り紙によって広報が行われましたが、その広報に気づかなかったために、知っていれば参加したかったにも関わらず参加できなかったイベントはありますか？

【 ある / ない / わからない 】

(対象者: 1 年次、配布数: 44、回収数: 38、回答者数: 38)



4.3 要望

参加したいイベントに参加できた学生は多い。新歓イベントの参加者が多いことや、宿舍入居手伝いのときに口頭で伝えたことから予想される結果である。そのような観点から見ると、参加したかったにも関わらず参加できなかったイベントがあると答えた 12 人は多いと考えられる。宿舍とアパート・宅通で距離を感じるということは毎年言われていることであるが、入学時点で親密さに差がつくことは避けたい。

現時点でどのように要望するかは決めかねている。

5 フレッシュマンセミナーに関する要望と、アンケート結果の報告

5.1 アンケート実施の背景

今年度のフレッシュマンセミナーでは、自己紹介のプレゼンテーションをクラス別に行った。合同でやってほしいという要望も出たが、既にプレゼンテーションを始めてしまった、クラス別を前提としたタイムスケジュールを組んでいたため今年度に関してはクラス別となった。

1 年次担任の先生方はこのことを受けて、来年度 1 年次担任の先生方に引き継ぎを行うと聞いているが、昨年度全代会においてフレッシュマンセミナーを改善するためのワーキンググループが発足し、先生方も何を企画すれば学生のためになるか関心があると思われる。そこで自己紹介のプレゼンテーションをはじめ、学生が何を興味深く感じたのか調査した。

5.2 調査結果

次の質問に対する回答は以下のようになった。

【1 年生】の方に伺います。フレッシュマンセミナーについて教えてください。

1 興味深かった内容はどれですか。該当するものに 3 つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 学類の方針や時間割の説明 | 5. 共同溝等基幹施設見学 |
| 2. 図書館フレッシュマンセミナー | 6. 担任プレゼンテーション |
| 3. セーフティライフセミナー | 7. 自己紹介 |
| 4. 学術情報メディアセンター見学 | |

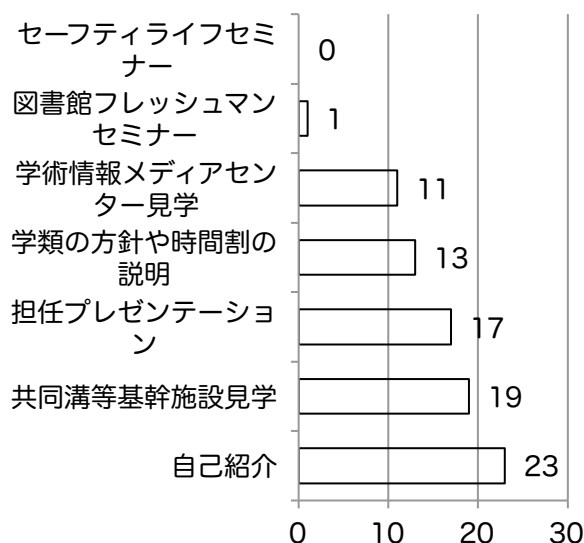
(対象者: 1 年次、配布数: 44、回収数: 38、回答者数: 35)

2 全員の自己紹介を聞きたいと思いましたか。該当するものに○をつけてください。

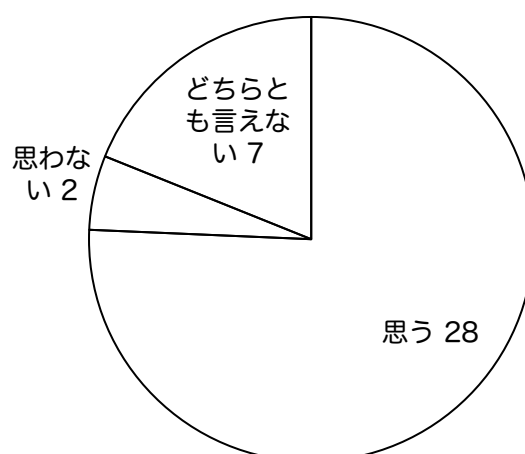
【 思う / 思わない / どちらとも言えない 】

(対象者: 1 年次、配布数: 44、回収数: 38、回答者数: 37)

1



2



5.3 要望

自己紹介プレゼンテーションをはじめ、フレッシュマンセミナーの内容を考える際の参考になれば幸いである。

6 専門選択科目「音声情報処理」に関する要望

6.1 アンケート実施の背景

「音声情報処理」が今年度開講されず、来年度は新任の教員が既に採用されているものの、事情により開講できるかは未定と聞いている。2 年連続開講されないことになると、特に 2011 年度入学生や音響系に興味のある学生は不満だろうと考えられる。そこで、この授業を受けたいと思っている学生がどのくらいいるのか調査した。

6.2 調査結果

次の質問に対する回答は以下のようになった。

音声情報処理（専門選択、標準履修年次：3 年次）について伺います。

1 【3 年生】の方に伺います。音声情報処理が今年度は開講されませんでしたが、開講されていれば受講する予定でしたか。該当するものに○をつけてください。

【 受講する予定だった / 受講しない予定だった / わからない 】

(対象者: 3 年次、配布数: 50、回収数: 33、回答者数: 32)

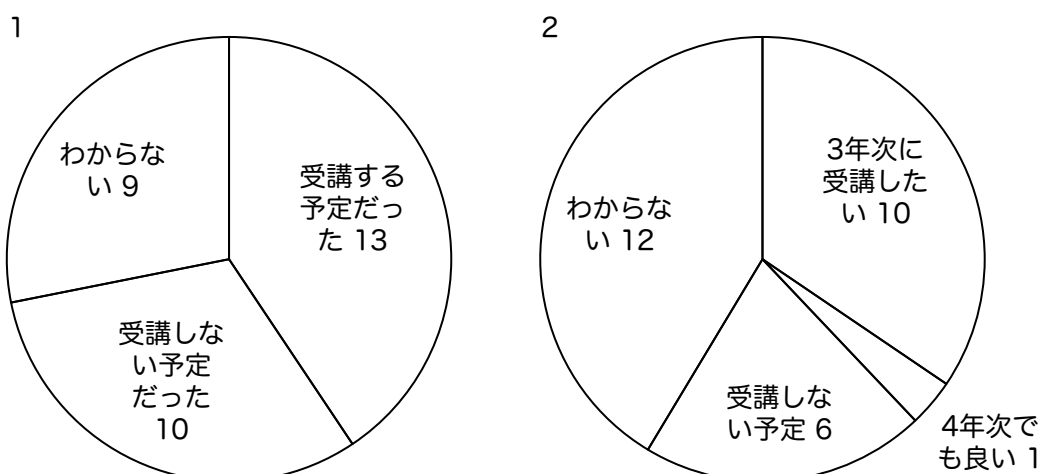
2 【2 年生】の方に伺います。3 年次に音声情報処理を受講したいですか。該当するものに○をつけてください。

【 3 年次に受講したい / 4 年次でも良い / 受講しない予定 / わからない 】

【音声情報処理】情報伝達メディアとしての音声の性質を明らかにし、音声の生成過程の仕組みと知覚特性を解説する。技術面では、音声波形のデジタル信号処理（音響特徴分析、情報圧縮・符号化技術）、および音声認識・音声合成など音声インタフェース関連技術の基礎について講義する。(シラバスより)

※「音楽・音響情報処理」と科目名が似ていますが、混同しないようご注意ください。

(対象者: 2 年次、配布数: 40、回収数: 29、回答者数: 29)



6.3 要望

全体の 1/3 程度の学生が受講したいと考えていると予想される。数として多くはないが、講義はその人の将来に影響する可能性があるものであるので、受講する予定だった・3 年次に受講したいと思っている学生が受講できるようにしてほしいと要望する。

7 その他アンケート結果の報告

7.1 コンテンツ応用論と CG 基礎の時間割に関する質問

7.1.1 アンケート実施の背景

2009 年度クラス連絡会において、コンテンツ応用論で興味のある講師の話を聴講したいという意見や、再履修などによって CG 基礎が履修できないのは困るという意見が出た。当時は具体的に人数を調査していなかったため改めて調査を行った。

7.1.2 調査結果と報告

次の質問に対する回答は以下のようになった。

コンテンツ応用論（専門基礎必修、標準履修年次：1 年次）と CG 基礎（専門基礎選択、標準履修年次：2 年次）について伺います。コンテンツ応用論と CG 基礎は同じ時間に行われるため、2 年次に CG 基礎を履修しつつ、コンテンツ応用論を履修する、再履修する、または興味のある講師の話を聴講することはできません。

【コンテンツ応用論】コンテンツ産業の第一線で活躍中のプロデューサー、クリエイター、プランナー、またコンテンツ流通の基盤に関わるエンジニアなどを講師として招き、コンテンツの世界の実情を肉声で伝えてもらう。(シラバスより)

【CG 基礎】コンピュータグラフィックス技法の基本的な考え方及び、生成手法について講義を行う。C 言語、OpenGL ライブラリ環境を用いた課題演習で学習内容について理解を深める。(シラバスより)

1 【1 年生】の方に伺います。コンテンツ応用論を 1 年次ではなく 2 年次に履修したかった(あるいは既に 2 年次に履修する予定)、または 2 年次にも聴講したいと思いますか。該当するものに○をつけてください。

【 はい / いいえ / どちらとも言えない 】

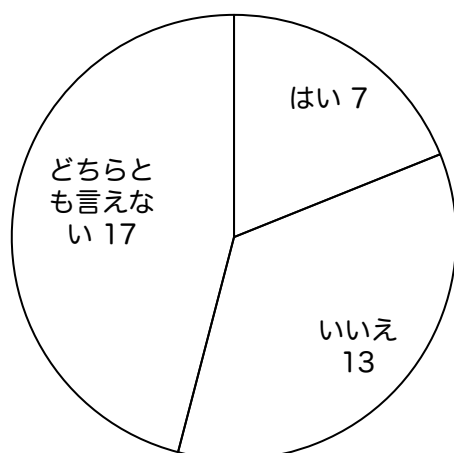
(対象者: 2 年次、配布数: 44、回収数: 38、回答者数: 37)

2 【2 年生以上】の方に伺います。コンテンツ応用論を 1 年次に履修しなかった、1 年次に単位取得できなかった、または聴講したい講師がいたために、CG 基礎と被った経験はありますか。該当するものに○をつけてください。

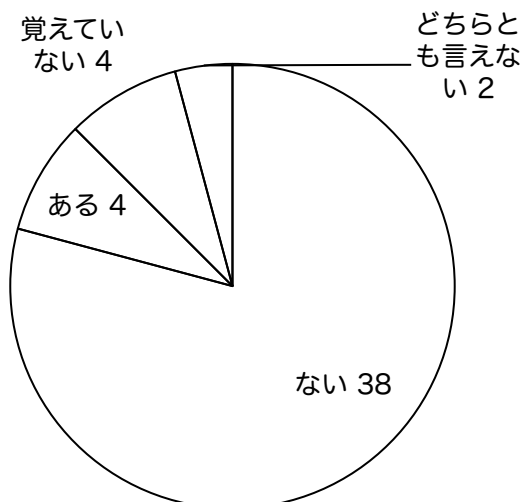
【 ある / ない / どちらとも言えない / 覚えていない 】

(対象者: 2,3 年次、配布数: 90、回収数: 62、回答者数: 48)

1



2



7.2 確率と統計、統計分析の教室に関する質問

7.2.1 アンケート実施の背景

確率と統計の授業を受けて、黒板が広ければより理解しやすかったのではないかとクラ代の 1 人が考えた。そこで今年度黒板が 1 枚の教室を使っている「確率と統計」、「統計分析」の担当の先生にこの考えを伝え、先生からの共感を得た。来年度の教室割り当てにおいて交渉が必要な場合説得力を持たせるためにどのくらいの学生が不満を感じていたか調査した。

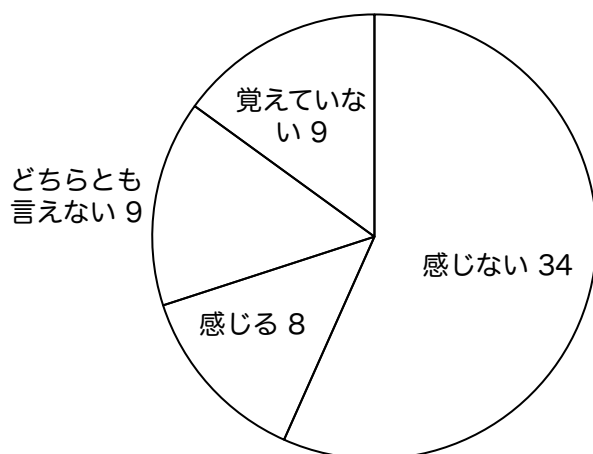
7.2.2 調査結果

次の質問に対する回答は以下のようになった。

【2 年生・3 年生】の方に伺います。確率と統計、統計処理の教室である 7A103 の黒板が 1 枚しかないために理解が阻害されると感じましたか。該当するものに○をつけてください。

【 感じた / 感じない / どちらとも言えない / 覚えていない 】

(対象者: 2,3 年次、配布数: 90、回収数: 62、回答者数: 60)



7.3 調査結果について

7.3.1 コンテンツ応用論と CG 基礎の時間割に関する質問

2,3 年生については、「ある」と回答した学生は 48 人中 4 人であった。多くの学生はこの 2 つのコマが重複していても困らないようである。

1 年生に関しては、まだコンテンツ応用論の第 1 週目しか受講していない段階でアンケートを実施してしまったため信頼性のないデータとなってしまった。

7.3.2 確率と統計、統計分析の教室に関する質問

多くの学生は黒板が広くなくても理解に支障はないと感じているようである。ただ、担当の先生は広い方が良く考えているようなので、もし可能であれば先生から要望をしていただきたいと思う。

2013年度 創成クラス連絡会アンケート

春日地区クラス代表者会議

このアンケートは、情報メディア創成学類の方が対象です。創成クラス連絡会¹の資料となります。この調査の結果は、個人が特定されない形で統計的に処理され、創成クラス連絡会の参加者に配布されます。春日地区クラス代表者会議（以下「クラ代」）による学習・生活環境の改善活動以外に利用されることはありません。

0. 学年を記入してください。（ ____ ）年次

1. 情報メディアユニオンの自動ドアの反応が悪くて困ったことはありますか。該当するものに○をつけてください。
【 ある / ない / どちらとも言えない / 覚えていない 】

2. 履修状況について伺います。

2.1. これまでに選択しなかった専門基礎選択・専門選択の科目について、科目名と選択しなかった理由を教えてください。科目名は、判別可能であれば省略した名称で構いません。

2.2. これまでに単位を取得できなかった科目について、科目名とその理由を教えてください。

3. 情報メディア創成学類に出願・入学した経緯について伺います。

3.1. 出願時に目指していた職業は何ですか。なお、「エンジニア」、「クリエイター」の定義は、以下の学類紹介ページによることとします。

【 エンジニア / クリエイター / その他（ _____ ） 】

情報メディア創成学類は、情報通信技術の基礎教育の上に、ネットワーク上を流通するコンテンツを生み出し・活用する技術（コンテンツ・テクノロジー）や、コンテンツの蓄積や流通を支える技術（ネットメディア・テクノロジー）を学ぶために創設された学類です。コンテンツそのもので勝負するクリエイターを養成する学類ではなく、技術力で社会にインパクトを与えるエンジニアを養成する学類です。
(<http://www.mast.tsukuba.ac.jp/outline/college.html>より)

3.2. 他の大学や他の学類ではなく、この学類に出願・入学を決めた理由を教えてください。

（裏面へ続きます）

¹ クラス連絡会 —— 先生方（主に学類長、学生担当教員、クラス担任教員）、学務課や支援室の職員の方が出席し、クラ代を中心とした学生が、意見交換・討議・連絡等を行うものです。今年度の創成クラス連絡会は、11/18(月) 18:15から7B310大会議室で行います。興味のある方はぜひお越しください。

4. **【1年生】** の方に伺います。入学式の前後で、情報メディア創成学類と知識情報・図書館学類合同で新歓イベントが行われました。TwitterやWebページ、貼り紙によって広報が行われましたが、その広報に気づかなかったために、知っていれば参加したかったにも関わらず参加できなかったイベントはありますか？

【 ある / ない / わからない 】

5. **【1年生】** の方に伺います。フレッシュマンセミナーについて教えてください。

5.1. 興味深かった内容はどれですか。該当するものに**3つまで**○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 学類の方針や時間割の説明 | 5. 共同溝等基幹施設見学 |
| 2. 図書館フレッシュマンセミナー | 6. 担任プレゼンテーション |
| 3. セーフティライフセミナー | 7. 自己紹介 |
| 4. 学術情報メディアセンター見学 | |

5.2. 全員の自己紹介を聞きたいと思いましたか。該当するものに○をつけてください。

【 思う / 思わない / どちらとも言えない 】

6. コンテンツ応用論（専門基礎必修、標準履修年次：1年次）とCG基礎（専門基礎選択、標準履修年次：2年次）について伺います。コンテンツ応用論とCG基礎は同じ時間に行われるため、2年次にCG基礎を履修しつつ、コンテンツ応用論を履修する、再履修する、または興味のある講師の話を聴講することはできません。

【コンテンツ応用論】コンテンツ産業の第一線で活躍中のプロデューサー、クリエイター、プランナー、またコンテンツ流通の基盤に関わるエンジニアなどを講師として招き、コンテンツの世界の実情を肉声で伝えてもらう。(シラバスより)

【CG基礎】コンピュータグラフィックス技法の基本的な考え方や、生成手法について講義を行う。
C言語、OpenGLライブラリ環境を用いた課題演習で学習内容について理解を深める。(シラバスより)

6.1. **【1年生】** の方に伺います。コンテンツ応用論を1年次ではなく2年次に履修したかった(あるいは既に2年次に履修する予定)、または2年次にも聴講したいと思いますか。該当するものに○をつけてください。

【 はい / いいえ / どちらとも言えない 】

6.2. **【2年生以上】** の方に伺います。コンテンツ応用論を1年次に履修しなかった、1年次に単位取得できなかった、または聴講したい講師がいたために、CG基礎と被った経験はありますか。該当するものに○をつけてください。

【 ある / ない / どちらとも言えない / 覚えていない 】

7. **【2年生・3年生】** の方に伺います。確率と統計、統計処理の教室である7A103の黒板が1枚しかないために理解が阻害されたと感じましたか。該当するものに○をつけてください。

【 感じた / 感じない / どちらとも言えない / 覚えていない 】

8. 音声情報処理（専門選択、標準履修年次：3年次）について伺います。

8.1. **【3年生】** の方に伺います。音声情報処理が今年度は開講されませんでした。開講されていれば受講する予定でしたか。該当するものに○をつけてください。

【 受講する予定だった / 受講しない予定だった / わからない 】

8.2. **【2年生】** の方に伺います。3年次に音声情報処理を受講したいですか。該当するものに○をつけてください。

【 3年次に受講したい / 4年次でも良い / 受講しない予定 / わからない 】

【音声情報処理】情報伝達メディアとしての音声の性質を明らかにし、音声の生成過程の仕組みと知覚特性を解説する。技術面では、音声波形のデジタル信号処理（音響特徴分析、情報圧縮・符号化技術）、および音声認識・音声合成など音声インタフェース関連技術の基礎について講義する。(シラバスより)

※「音楽・音響情報処理」と科目名が似ていますが、混同しないようご注意ください。

ご協力ありがとうございました。

創成クラス連絡会の結果は、クラ代掲示板の広報紙PALにてご報告致します。

アンケートやクラス連絡会に関するお問い合わせはkasuga@kuradai.orgまでご連絡ください。